

【選定基準】

評価番号	評価項目	具体的な評価の観点	配点
1	業務実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営、実施体制が明確で責任の所在がはっきりしている。</li> <li>・他自治体での類似業務実績があり、円滑な履行が期待できるか。</li> </ul>	5
2	操作性 画面構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詳細なマニュアル等を見なくても直感的にログインや回答、管理等の操作ができるか。</li> <li>・児童生徒が取り組みやすい画面構成になっているか。</li> </ul>	10
3	教科書対応 教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市採択教科書に対応した内容になっているか。</li> <li>・手書き入力やキーボード入力など多様な解答形式が備わっているか。</li> </ul>	5
4	解説 学習履歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図解やグラフ等、問題特性に応じた分かりやすい解説があるか。</li> <li>・児童生徒が自分で間違えた問題を確認し、振り返りやすい仕組みか。</li> </ul>	5
5	教員支援機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の進度に合わせて問題の検索や配信が容易にできるか。</li> <li>・児童生徒の学習状況や理解度をリアルタイムで把握できるか。</li> <li>・自動採点機能により、教員の採点業務負担軽減が図られるか。</li> </ul>	10
6	カスタマイズ性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員自身がオリジナルの問題を作成（問題を選択）するなどのカスタマイズ機能が備わっているか。</li> </ul>	5
7	AI 総合活用 個別最適化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の筆順や数式の展開などをAIが正確に判定・解説できるか。</li> <li>・児童生徒の学習履歴（取り組んだ問題数、取り組んだ時間、正答率を多面的に分析し、教員が活用しやすいものになっているか。</li> <li>・児童生徒に対して、個別の課題に応じた配信等の個別最適な学びを推進する機能があり、学力向上に結び付ける工夫があるか。</li> <li>・つまづきの原因を特定し、学年間、校種間を超えてどの学年の問題にも取り組めるか。</li> </ul>	40
8	運用保守 セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入後の研修や、トラブル時の対応体制が構築されているか。</li> <li>・個人情報保護法及びセキュリティに関する対策が適切に構築されているか。</li> </ul>	5
9	自由提案 付加価値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記以外の項目で、本市の教育の質を高める独自の優れた機能や提案があるか。</li> </ul>	5
10	価格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（最低見積提示金額/見積提示金額）×10</li> </ul>	10
合計			100